

北星学園大学スミス・ミッションセンター主催

伝統と瞑想の世界 インド古典音楽を聴く

北インド古典音楽にはドゥルパド(dhrupad)とカヤールの二種類があり、どちらも精神修養を目的に成立し、その内容は声楽や器楽での即興を主にした演奏です。江別市と札幌市在住の3名の音楽家による、ドゥルパド音楽の紹介と演奏を通じ、インド文化の豊かさと精神性をぜひご体験下さい。



中井すがた氏:2010年より、インド古典ドゥルパド声楽を北インドバラナシにて、リトウィク・サンニャル氏より学んできた。ドゥルパド声楽家としてコンサートや、インド声楽の基礎指導などを道内外で行う。【Instagram @sugata_raga】

清水一貴氏:2007年にインドにて横笛バーンスリーを始める。2010年より、インド、ベナレスにてシャニーシュ・ギャワリ師に師事。現在も師からの指導を受けつつ演奏活動を行っている。



黒田真介氏:北インドの打楽器であるタブラ奏者。2000年よりシュリ・ディネツシュ・ディヨンディ師にタブラを師事し、現在も研鑽中。

時間:6月18日(水)12時20分より
場所:北星学園大学 C館 50周年ホール

入場無料、申し込み不要 どなたでもご自由にお越しください

問い合わせ:北星学園大学総務課(Tel:011-891-2731)